

■ 平成 28 年度 推進員研修会 レポート ■

6月23日に清里高原のキープ協会にて研修会が行われました。参加者は推進員や県内の市民活動家をお迎えし、2つのテーマについて学びました。



第4号 2016年7月 発行



◆テーマ1:「ソーラークッカーを知ろう！使ってみよう！」講師／工房あまね 滝沢本春さん
長野県佐久市で和製ソーラークッカーを製造されている滝沢さんにソーラークッカーの特性や取り巻く世界情勢などを伺いました。太陽の熱を焦点に集めるパラボラ型や、熱を箱に集めてオープンのように使うボックス型などが紹介され、用途に合わせて世界中で使われていることを知りました。一方、滝沢さんが途上国に普及させようとする中で広まらない現状に出会い理由を尋ねると「先進国に憧れている途上国は、先進国で流行っていないものは興味が沸かない」という答えを受け唖ったという話も。国内でも東日本大震災以降はエネルギーに関心が高まり実用品としての受注が増えたが、時間が経つにつれそれも薄れているとのこと…。そんな時に転機になったのはアメリカで行われたソーラークッカーフェスティバルに参加し、機能性を求めるだけでなくユニークで温もり溢れる作品に出会ったそうです。その会場では「CO2削減のためにソーラーを利用しよう」という言葉は聞かれなかったが、「お客さんが来たときにソーラーでお茶を沸かすとすごく話が弾むのよ」「ソーラーのペースで料理をするのが心地良いのよね」といったコメントが交わされ、滝沢さん自身も「ああ…ソーラークッカーって本当に楽しいものだなあ！」という想いを思い出したそうです。この話は私たちの活動にも大きなヒントになりそうです。滝沢さんの情熱に元気と勇気をもらいました。



◆テーマ2: 清泉寮ペレットボイラー見学ツアー／キープ協会施設管理部 佐伯裕二さん



キープ協会の宿泊施設である清泉寮はボイラーのエネルギーにペレットを利用しています。風呂場や厨房、部屋の暖房などに、その熱が利用されています。かつて山梨県内には産業としてのペレット製造工場は無かったのですが、清泉寮が一定量を利用することを決めたことで、山梨市にある飯島製材所(推進員さんです)が製造プラントを導入しました。ペレットは1日約1tを消費し、これによって削減できる排出CO2は年間約300tです。ペレットの材料は県産材の端材で、木材+ペレットとして利用することで木材の値段も上がり以前よりも林業の仕事が成立してきたとのこと、加えて森林の手入れがきちんとされる面積が増えたことで、シカ害が減ってきたという嬉しい声も聞かれるそうです。また、ペレットの輸送に関しては利用場所から100km圏内が理想とのこと、たとえ輸入ペレットが安いからそれを使うというのでは、輸送にエネルギーがかかってしまい意味がなくなるので、地域の木材をエネルギーにするという考え方が重要とのこと。参加者の皆さんからは、こういった事業者が大規模にペレットを導入している様子は素晴らしいという声を頂きました。今回は、キープ協会の取り組みを見て頂きたいという思いで北杜市での開催になりましたが、今後も県内あちこちで実施していく予定ですので、ご参加ください。



■□■ 平成 28 年度 第 1 回 地域リーダー養成セミナー リポート ■□■

6 月 3 日に山梨県エネルギー局エネルギー政策課が主催するセミナーが、甲府の防災新館で行われました。

第一部は、エネルギー政策課からは 2030 年を目標に電力自給率を 70%にし、電力消費量を 17%減らすという、“やまなしエネルギービジョン”の詳しい説明があり、推進員活動を広く知らせるためにフェイスブックを立ち上げたことなどが発表されました。また、森林環境部からは“7つのエコ活動”特に“山梨らしいブドウの木を利用した緑のカーテンセミナー”の紹介がありました。また、エネオスグローブエナジーの「うちエネ診断士」の方からは診断を受けての市民からのコメントが幾つか紹介され“家計が助かると意欲が持続される”といった声が多いそうです。



第二部は、横浜市地球温暖化対策協議会・事務局長、佐藤一子氏の講演です。まず、IPCCレポートの数値を示しながら、温暖化は目に見えにくい問題なので、自分とどう関係があるか具体的な根拠を示すことで心を動かすことが必要だと教えてくださいました具体的な取り組みとして、横浜市は家庭電力消費が高いので“横浜メガワットキャンペーン”と題し「34,000 家庭が白熱電球を 1 個だけLED電球に替えると 100 万ワット削減できる！」という事業を成功させたとのこと。また、人口 370 万人の横浜市で活動を広げていくためには、地域に密着し小まめに区と連携し協働する努力をされていること、少人数でも市民を集めて勉強会を開催し「エコ活動は楽しい！し、儲かる！のだ」というマインドを市民に伝えているそうです。

質疑応答では「協議会を継続していくための秘訣は？」が出され以下のようなアドバイスを頂きました。

- ①若手の人材育成として勉強会の参加者の中からやる気のある市民をスタッフとして養成していく
- ②イベントで出展している企業に活動の意義を伝えて協賛金のお願いをする
- ③地域行政と協定書を交わして事業を行い、行政からは予算を、自分達は普及啓発のノウハウを提供し、お互いの得意な面で協力し合う

第三部は山梨県地球温暖化防止活動推進センターより昨年度の事業報告をし、特に山梨県内の小学生を対象にした「エコ×エネ子どもキャンプ」では、自然の中にエネルギー循環があること、その中で人間も生かされていることを実感するを目的に行ったプログラムの様子を、皆さんじっくりと見てました。

次回の研修は、10 月 14 日に予定されています！ご予約ください



今年度、山梨県地球温暖化防止活動推進センターでは、山梨県内でエコな活動に取り組む方々の活動取材し、皆さんに広くお伝えするシリーズを掲載していきます。楽しみにしてください！

第一回のゲストは、「山梨県立大学エコユースフォーラム代表の古林みづきさん」です。以下は、伺ったお話の内容です。

◆マヨネーズ姿でゴミ拾い！？

『私たちエコユースフォーラムは発足 10 年目の環境保護サークルです。現在のメンバーは約 20 名。「カタイ、真面目」などのイメージを持たれがちな環境保護ですが、私たち自身がもっと楽しく実践して、それを見る周りの人にも環境というものが、身近で楽しいものであると感じて欲しい…そんな想いで活動しています。』



主な活動は、学内のカフェテリアで出る飲料用紙パックの回収、大学祭での子供のおもちゃ交換会「かえっこ」やリユース食器利用の呼びかけ、ヴァンフォーレ試合会場でのごみの持ち帰りの呼びかけ、エコブース出展などです。

また最も特徴的な活動として、甲府駅前や学校周辺で「マヨネーズ清掃」を行っています。このマヨネーズのコスプレには、「味気ない地道な作業に、楽しい味付けを♪」という先輩たちの想いが込められています。写真を撮られたり子供に逃げられたり反応は様々ですが(笑)やはりこの格好のおかげで皆さんが関心を持ってくださるのがよくわかります。小さな子供がゴミ拾いを手伝ってくれた時などはとても嬉しかったです。

今後は、他大学や他団体と、もっと交流を深め、情報交換し協力し合って活動を広げていきたいです。また、自分達の活動を何らかの形でもっと情報発信して、よりたくさんの人にアピールしたいです。多くの人に関わることで少しずつ形が変わっても、先輩たちから受け継いだ想いをつなげて、楽しく、かつ真剣に、良い活動を続けていきたいです。

(インタビュー: 鳥屋尾健/書き取り: 鈴木律子)

◆講演会「地球温暖化リスクと人類の選択」参加レポート

5月14日、北杜市にて、北杜市地球温暖化対策クリーンエネルギー推進協議会が主催して講師に国立環境研究所・気象変動リスク評価研究室室長・江守正多さんをお招きしての講演会が行われました。「2050年の天気予報」(※脚注1)の動画を見ることから始まり、IPCC(※脚注2)第5次評価報告書で報告されている事項をわかりやすく丁寧に解説いただきました。

江守さんの言葉の中から幾つかをご紹介します。

「多様な価値をもつ関係者が対話しながらひとつの方向に向かっていくことが大事」

「パリ協定の評価は、気候変動により悪影響・好影響がそれぞれの地域で異なる立場の中で、世界が合意できたことはすばらしい一歩」

「省エネのみならず、今後も気候変動への『人類の選択』に関心持ち続けて欲しい」

私たちが関心を持ち続けること、そしてそれぞれが小さな一歩を踏み出していくこと、これが原因と結果が単純ではないこの課題に私達ができることかも知れません。

最後に、会の冒頭に協議会の会長・篠崎さんの主催者挨拶を紹介させていただきます。

「青い地球は子どもからの借りもの。いかに美しいまま次の世代に渡していけるか」

※1: You tube「2050年の天気予報」NHKで検索すると動画がご覧いただけます

※2: 195カ国が参加。人為期限による気候変動、影響、適応及び緩和策に関し、科学的、技術的、社会経済学的なアプローチで総合的に判断しとりまとめている政府間パネル



◆第2回ソーラークッカー全国大会『山梨太陽熱エネルギーフェスティバル』

日照に恵まれた山梨の特質を生かして太陽熱を使って！使って！使い切ります！甲府の暑さを逆にとれ！

・日時／2016年7月16日(土)10:00～15:00

・会場／甲府市リサイクルプラザ 甲府市上町601-2 (駐車場は甲府市環境センターグラウンド)

・主催／甲府市地球温暖化対策地域協議会・NPO法人みどりの学校

・内容／様々なソーラークッカーが集まり太陽熱のおもしろい使い方や調理方法を紹介します！試食もできます！

※マイはし・マイカップ・マイ皿をご持参ください

*「手作りミニソーラークッカー工作教室」(無料)10:30～ 13:00～ 先着20名ずつ

*「手作り太陽熱温水器工作教室」(無料)10:30～ 13:00～ 先着20名ずつ

*いつでも参加可能なソーラークッカー工作教室も開催

・参加費／無料

◎お問合せ

甲府市地球温暖化対策地域協議会 電話／055-241-4312 FAX／055-241-6190

kankyohozen@city.kofu.lg.jp



◆第3回 県内でも稼働中の木質バイオマスボイラー導入施設を見に行こう！

やまなし木質バイオマス協議会は山梨県より木質バイオマス普及促進事業の委託を受け、木質バイオマスボイラー等の導入を検討している県内の市町村、事業者の方々を対象に、木質バイオマスボイラー導入施設等の説明・見学ツアーを開催いたします。地域の森林資源を有効に活用した木質バイオマスエネルギーの利用を体感していただくとともに、実際に施設を利用する方の声や専門家のお話を通じて、導入に向けて必要な課題や情報を学び取っていただきたいと思いますと考えております。ぜひともご参加くださいますようご案内申し上げます。

・日時：平成28年8月2日(火) 9:00～17:00(予定) *大型バスで移動

・集合場所1：山梨県庁東公用車駐車場 8:50(時間厳守でお願いします)9:00 発

・集合場所2：大池公園駐車場 (河口湖畔 富士河口湖町小立 1221)

・見学先：①河口湖南中学校 (富士河口湖町)／木質バイオマス乾燥チップボイラーによる全館暖房設備及び、太陽光発電、雨水利用等の自然エネルギー設備が導入された校舎

②富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合 (富士吉田市)／木質ペレット燃料を利用したハウス加温機と木質ペレット製造工場

③東京大学富士癒しの森研究所 (山中湖村)／薪を利用したロッジおよび、施設内の見学と意見交換会

・定員：40名 要受付 ※受付先着順(定員になり次第、締め切り)

・参加費：無料 ※昼食お弁当(実費1000円程度)は、参加者のご負担となります。

お申込：平成28年7月25日(月)までに、添付の申込用紙にご記入の上、メールかFAXでお申込みください。

(※お電話でのお問合せ受け付けは、事務局の都合により7月11日以降にお願い致します)

◎お問合せ

やまなし木質バイオマス協議会

〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町64-1 功刀ビル1F Tel:055-225-6834 Fax:055-225-6835

Mail: y-biomass@themis.ocn.ne.jp HP: <http://yamanashiwbc.blogspot.jp/>



発行：『山梨県地球温暖化防止活動推進センター』公益財団法人キープ協会

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 キープやまねミュージアム内

TEL:0551-48-8011 FAX:0551-48-3577 Mail: eco@keep.or.jp URL:<http://www.keep.or.jp/yccca/>